

令和元年がん検診受診率について（国民生活基礎調査結果）

令和2年8月19日
がん対策課

1 趣 旨

令和2年7月17日に厚生労働省から公表された「令和元年国民生活基礎調査」の結果をもとに、独自にがん検診受診率を算出した。5がん全てにおいて前回調査より受診率が向上したが、目標の50%（令和元年度目標45%）は達成できなかった。

◆令和元年国民生活基礎調査結果

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
広島県	41.3%	45.9%	41.0%	43.6%	43.9%
全 国	42.4%	49.4%	44.2%	43.7%	47.4%

前回調査（H28）比較増減					
受診率	0.8p 上昇	3.8p 上昇	2.2p 上昇	3.4p 上昇	3.6p 上昇

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
(参考) 平成28年	40.5%	42.1%	38.8%	40.2%	40.3%
全 国	40.9%	46.2%	41.4%	42.4%	44.9%
平成25年	40.5%	41.3%	37.2%	43.9%	43.0%
全 国	39.6%	42.3%	37.9%	42.1%	43.4%
平成22年	32.6%	23.3%	23.3%	40.0%	36.9%
全 国	32.3%	24.7%	26.0%	37.7%	39.1%

※1 胃・肺・大腸については過去1年以内、子宮・乳については過去2年以内の受診状況を調査
 ※2 第3次広島県がん対策推進計画において、がん検診受診率目標の対象年齢が40～69歳（子宮がん20～69歳）としていることから、この対象年齢に合わせて算出したもの（厚生労働省においても、平成25年調査から、国のがん対策推進基本計画にあわせて同様の対象年齢により算出・公表している。）

◆◆ 令和元年国民生活基礎調査 ◆◆

【調査実施】令和元年6月
 【調査対象】全国の約30万世帯・世帯員約72万人
 ※うち広島県のがん検診受診率算出の対象者

検診種別	調査回答者数	住民基本台帳年齢階級別人口(参考)H31.1.1現在	抽出率
胃, 肺, 大腸がん(40～69歳)	1,132人	1,127,069人	0.1%
子宮がん(20～69歳)	799人	860,789人	0.1%
乳がん(40～69歳)	569人	568,595人	0.1%

2 年齢調整死亡率

がん対策の全体目標である75歳未満年齢調整死亡率は、長期的な傾向としては、全国平均を上回る率で着実に減少している。

(単位：人口10万人当たり人)

区分	平成10年	平成20年	平成28年	平成29年	平成30年	目標(R5)	減少率	
							(H10→H30;20年)	(H20→H30;10年)
全 国	105.6	87.2	76.1	73.6	71.6	—	32.2%	17.9%
広島県 (全国順位)	107.6 (36位)	86.2 (28位)	73.1 (16位)	70.3 (17位)	69.8 (19位)	58.0	35.1%	19.0%

3 今後の対応

年齢層ごとの受診率や他県との比較など分析を行うとともに、これまでの受診率向上対策事業の検証などを行った上で、目標の50%（R4年度）達成に向けて、今後の取組について検討する。